

## 環境法・環境問題

小賀野晶一著

### 基本講義 環境問題・環境法

(第2版)

A5判並製300頁/2800円

[2764-4・21]

松村弓彦・柳憲一郎・荏原明則・石野耕也・小賀野晶一・織朱実著

### ロースクール環境法(第2版)

A 5 判上製612頁/4000円

[3270-9・10]

松村弓彦著

### 環境法の基礎

A 5 判並製242頁/2300円

黒川哲志・奥田進一編

### 環境法へのアプローチ〔第2版〕

A5判並製302頁/2300円

[3294-5・12]

奥田進一・長島光一編

### 環 境 法

将来世代との共生

A5判並製346頁/3000円

[3433-8・23]

黒川哲志・奥田進一編

### 環境法のフロンティア

A 5 判並製310頁/2400円

[3331-7・15]

小賀野晶一・奥田進一編

### 森 林 と 法

A 5 判並製168頁/2000円

[3413-0・21]

環境訴訟, 環境立法, 環境法理論, 環境政策といった広義の環境問題の諸相について概観し, 地球環境問題解決のための実践的アプローチを意識した教科書。

ロースクール向け環境法の教科書で, 基礎論, 部門法, 環境行政訴訟, 環境民事訴訟, 先進的法制度の動向の5編で構成される。補訂版以降, 新立法と既存の法律の改正が頻繁に行われており, さらに新判例もあるため, これに応じた内容をあらためたもの。

環境法の基礎論に焦点を当てた3章構成の教科書。第1章「環境と環境法」は環境法, 環境等の基礎的な概念を概説し, 第2章「環境管理」では環境法におけるリスクとリスク管理の理論と方法論を扱う。第3章「環境法の原則」では予防, 原因者負担, 協調原則と, 統合的環境管理, 持続的発展等の考え方を考察する。[3271-6・10]

環境法の歴史, 国際的形成, 地球温暖化, 自然公園, 都市環境, 環境アセスメント, 環境権など, 環境法について幅広く解説した, 学部生向けの教科書。戦略的環境アセスメントや, 再生可能エネルギー固定価格買取制度の導入など, 最新の状況を反映させた, 待望の第2版!

環境問題が世界規模で問題となっている現在, 環境法を法政策の観点から網羅的に取り上げて環境法制定の背景の過去を振り返り, 「将来世代の目線」で現行制度の特徴と課題を挙げる。

福島第一原発事故を契機に, 環境保全の法制度の現状についての検証が求められている現在, 環境法制度の到達点と今日的課題を明らかにし, 今後の環境法の進むべき方向性を示す。

私たちの生活に密接に関連し, 地球環境問題の解決の鍵を握っている森林が有する機能を解き明かし, 森林を保護する法制度, 法政策とはどのようなものかを検討し, 明快に解説する概説書。

横山丈太郎著

## 地球環境問題へのアプローチ

A 5 判並製160頁／1800円

[3405-5・20]

現在進行中の地球環境問題の全体像とわが国の関連性を正確かつ平易に解き明かし、わが国の市民がアプローチし、選択していかねばならないとして問題提起を試みる注目の書。

伊藤達也著

水資源環境学会叢書5

木曾川水系の水資源問題  
流域の統合管理を目指して

A 5 判上製390頁／6000円

本書の目的は木曾川水系の水資源問題の解決にある。中でも長良川河口堰や徳山ダム問題等、わが国を代表する水資源問題のメカニズム解明のために、流域を視野に入れた社会・経済分析を行い、これまで国交省等が主張してきたダム・河口堰の必要性論理に対して厳しい批判を投げかけている。

[8057-X・06]

仲上健一著

水資源・環境学会叢書6

## サステナビリティと水資源環境

A5判上製266頁／5000円

地球環境問題が深刻化する中で、気候変動による水資源環境影響の緩和策・適応策の確立が重要視されてきた。「地球システム、社会システム、人間システムの再構築と修復」を目標とするサステナビリティ学の視点で、現代の水問題の総合的・実践的課題を分析し、ウォーター・セキュリティについて考察。

[8060-1・08]

牛山積・首藤重幸・大塚直・須網隆夫・  
榎澤能生著

## 環 境 と 法

46判並製184頁／1600円

早稲田大学法学部主催講演録

①公害・環境紛争と法（牛山積）②日本の原子力行政と住民・裁判・世界（首藤重幸）③化学物質をめぐる法的問題（大塚直）④EU 環境法の最近の動向（須網隆夫）⑤地域中間団体による自然資源の維持管理（榎澤能生）

[9124-5・04]

伊藤達也・在間正史・富樫幸一・宮野雄一著  
水資源・環境学会叢書4

## 水資源政策の失敗

長良川河口堰

A 5 判上製220頁／2200円

わが国最大の環境保護運動の高まりにも拘らず、運用が強行された長良川河口堰では現在、問題が次々と発生している。本書は河口堰の最大目的である水資源開発に焦点をあてて、事業目的が完全に破綻していること、河川・地域再生のために堰の運用停止・事業の破綻処理が不可欠であることを明らかにした。

[8052-9・03]

鳴田純・上野眞也編

熊本大学政創研叢書9

## 持続可能な地下水利用に向けた挑戦

地下水先進地域熊本からの発信

A 5 判上製326頁／2500円

熊本地域の水文環境・水理地質構造・地下水関連条例等の既存情報をとりまとめることで、地域の地下水特性や科学技術振興機構の戦略的創造研究推進事業研究の理解を目的とする研究成果。

[9257-4・16]

中山充著

香川大学法学会叢書5

## 環 境 共 同 利 用 権

環境権の一形態

A 5 判上製312頁／5000円

環境保全のあり方を新たな視点で問う。環境法の解釈と立法の基本にすべき住民の権利を明確にし、国民と法実務を結ぶ。環境権論を詳細に検討して、集団的公共的な権利を構成し、漁業法秩序、公害防止協定、豊島産業廃棄物不法投棄事件について、その具体像を示す。憲法や地球環境保全との関係も論じる。

[3208-7・06]

松村弓彦著

## 環 境 協 定 の 研 究

A5判上製294頁／5000円

第1編において、環境協定の理論的基盤としての協定原則を総括し、第2編では、環境協定の実効性と課題、その課題を克服するための制度的手当てに関するドイツ学説を分析し、環境協定手法を活用するための課題を提示する最新の研究書。

[3235-8・07]

宮崎淳著

## 水資源の保全と利用の法理

水法の基礎理論

A 5 判上製390頁／7000円

本書の目的は、健全な水循環の確保の理念に基づく水法の体系的の研究のための基礎理論を構築することにある。アメリカ水法との比較法的視座を手掛りに、水法秩序について水循環を前提に再構成するとともに、地下水と水源の保全に関する法理論に着目することにより水資源の保全と利用のあり方を提示する。〔8066-3・11〕

梶原健嗣著

水資源・環境学会叢書8

## 都市化と水害の戦後史

A5判上製268頁／5500円

〔3429-1・23〕

阪神大水害、狩野川台風、伊勢湾台風、大東水害、長崎大水害、福岡水害、東海豪雨、広島土砂災害を取り上げ、「都市型水害」をその背景とともに分析することにより、戦後社会の歩みを振り返る。

奥田進一著

拓殖大学研究叢書49

## 共有資源管理利用の法制度

A5判上製306頁／5000円

〔3389-8・19〕

「土地資源の共的利用」「公共財としての水資源」「共有資源の権利侵害と管理責任」の構成で、私権性をもつ公共財である土地や水そして自然環境を現行法上の取扱いの視点から捉える。

永松俊雄著

## 新版 環境被害のガバナンス

一水俣から福島へー

A 5 判並製266頁／2600円

水俣病の教訓から見てくる、福島原発事故再生への一筋の光。公害原因企業研究の第一人者である著者渾身の一冊。わが国の公害問題の原点とされる水俣病の教訓をもとに、市民の視点から福島原発事故の現状や課題を冷静に読み解く。統計資料の更新やその後の動向について追補した新版。〔3360-7・17〕

奥田進一編著

## 中国の森林をめぐる法政策研究

A 5 判上製324頁／5000円

〔3317-1・14〕

制度改革が進む中国の森林をめぐる権利関係の現状と特徴について、自然資源の利用と管理をめぐる法整備の変遷や経済発展の経緯を踏まえて、多岐にわたる専門領域の研究者がフィールドワークや文献調査を行って解明した圧巻の論文集。

北川秀樹編著

## 中国乾燥地の環境と開発

自然、生業と環境保全

A 5 判上製352頁／5000円

〔3330-0・15〕

中国西北地域の厳しい自然の現状、生業、環境保全のための対策等を明らかにする「中国西北部・乾燥地における大規模開発と環境保全政策に関する研究」の成果。

中央学院大学社会システム研究所編

佐藤寛・林健一著

## 水循環健全化対策の基礎研究

計画・評価・協働

A 5 判並製224頁／3800円

〔8074-8・14〕

「水循環系の健全化」という概念を軸に、特に、環境指標を中心とする行政計画の管理・評価のあり方、水循環の保全再生に向けた関係主体間の対話と協働のあり方について検討を行う。

中央学院大学社会システム研究所編

佐藤寛・林健一著

## 水循環保全再生政策の動向

利根川流域圏内における研究

A 5 判並製186頁／3100円

〔8075-5・15〕

首都圏の水源として重要な役割を果たす利根川を検討素材とし、特に、水循環系の健全化に向けた、利根川上流域の地方自治体における取組みの展開状況を把握し、課題の解明とその改善策を提言しようとするもの。

中央学院大学社会システム研究所編  
佐藤寛著

## 円筒分水の研究

A 5判並製132頁/1200円

[8085-4・21]

小林寛著

## アメリカの再生可能エネルギー法制の構造

日本への示唆

A5判上製276頁/5600円

[3404-8・21]

佐藤寛著

## モンゴル国の環境と水資源

ウランバートル市の水事情

A5判並製166頁/2600円

[8078-6・17]

吉田克己/マチルド・ロートロー=プトネ編

## 環境リスクへの法的対応

日仏の視線の交錯

A5判並製192頁/2800円

[2699-9・17]

中央学院大学社会システム研究所編

## ラムサール条約の国内実施と地域政策

地域連携・協働による条約義務の実質化

A5判並製258頁/4000円

[8079-3・18]

仲上健一・山本佳世子著

水資源・環境学会「環境問題の現場を歩く」シリーズ①

## 志津川湾と野川を歩く

A5判並製66頁/1000円

農業にとって重要な農業用水を一定の割合で正確に分配するために用いられる利水施設であり、現在日本に百カ所以上存在するとされている「円筒分水」の役割を中心とした調査研究の成果。

アメリカの再生可能エネルギー法制に係る連邦レベルのみならず州レベルの取組みにも着目し、日本の再生可能エネルギー法制について一定の示唆を見出すことを目的とする研究成果。

モンゴル国の水資源や水道資源の現状と課題、ウランバートル市内を流れるトール川汚染の実態などをフィールドワークに基づいて詳述し、モンゴル国の水資源と環境問題全般を俯瞰する。

「科学的不確実性の法的取扱い」「原子力被害の取扱いに関する比較検討」「気候変動リスク」の3部構成で、現代法における法形成と法執行の役割分担のあり方を検討する日仏比較法研究。

地域政策学の観点から新たな湿地研究を試みる中央学院大学社会システム研究所の研究成果。

深化を続ける水と環境の問題を学際的な視点から考察し、研究者はもちろん、実務家、市民のみなさんなど幅広い担い手の参加を得て、その解決策を探る。第1回は、わが国有数の漁業資源を有する生態系豊かな海である宮城県南三陸町に面する志津川湾とわが国を代表する都市河川であり、河川整備が著しく進み、地域住民の憩いの場となっている多摩川水系の野川を歩く。[3430-7・23]

伊藤達也・梶原健嗣著

水資源・環境学会「環境問題の現場を歩く」シリーズ②

## 長良川河口堰と八ッ場ダムを歩く

A5判並製68頁/1000円

[3431-4・23]

深化を続ける水と環境の問題を学際的な視点から考察し、研究者はもちろん、実務家、市民のみなさんなど幅広い担い手の参加を得て、その解決策を探る。第2回は、建設賛成派、建設反対派が対立する長良川河口堰と住民訴訟で揺れる八ッ場ダムを歩く。

## 政治学

平石正美・五味太始・古坂正人編著

## 政治学入門

A5判並製240頁／2700円

〔3399-7・20〕

20世紀の政治理念や国家モデルに限界が来ていることを前提に、「伝統的国家優位モデル」「政府なき統治モデル」「国家中心モデル」「リベラル・デモクラシー・モデル」「ネットワーク・モデル」という5つの既存モデルを再検討する入門書。

梅川正美著

## 昔話とアニメの中の政治学

46判上製212頁／2400円

〔3390-4・19〕

アニメ、漫画、映画に流れ込んでくる昔話の傾向を発見し、その水脈をたどりながら、現代のわたしたちの政治意識の特徴をさぐる。

大塚桂編

## 政治学へのいざない〔第2版〕

A5判並製232頁／2200円

初学者を政治学へといざなうことを目的とした入門書。「1 政治学の基礎概念」(大塚桂)／「2 政治思想の歴史」(石井健司)／「3 現代の政治理論」(森真砂子)／「4 政治制度の諸相」(井上拓也)／「5 政治過程の諸相」(小西秀樹)／「6 戦後野本政治史」(栗田直樹)などの内容。補章では、学習上の手引きをする。〔3247-1・08〕

多賀秀敏編著

## 平和学から世界を見る

A5判並製406頁／2500円

〔3396-6・20〕

平和学から世界を見るとどのように映るのか。平和構築、国際協力、ジェンダー、文化論、非核化、東アジアの安全保障。20人の研究者・実務家がそれぞれの論点から初学者にもわかりやすく論じる。平和学のテキストに最適の1冊。

佐藤俊一著

## 政治行政学講義〔第2版〕

A5判上製346頁／3000円

〔3229-7・07〕

不可分の関係にある政治学と行政学の交錯を明示化した最新のテキスト。政治学と行政学を両面から学べる。最近の大学の講義の実状に合せた構成。索引を充実し、各章ごとに引用・参照文献を列挙。

梅津實・富沢克編著

## エッセンシャル政治学

A5判並製256頁／2300円

主として大学ではじめて政治学を学ぼうとする読者のための入門書。またある程度政治学に親しんだ者にとっても、全体的な「鳥瞰図」をえる上で格好の書。政治思想から日本政治、国際政治まで幅広いテーマをとりあげながら、広大な「政治の世界」へと案内する。政治の全体像を把握するための好著。〔3157-9・00〕

初谷良彦・宮原辰夫・向山恭一・

石上泰州著

## 概説デモクラシーと国家

A5判並製162頁／1500円

〔3127-7・96〕

本書は、政治学・憲法学の初学者のために基本概念を分かりやすく紹介したものである。「デモクラシーと国家」に関わる諸問題を、政治思想とデモクラシー、民主主義と選挙制度、政治権力とリーダーシップ、政治体制と政治統合、国家と憲法、主権、憲法制定権力などの観点から概説した入門書である。

三浦信行・石見豊・安木勲編著

## 政治学講義

A 5 判並製244頁/2600円

[3325-6・14]

大塚桂著

## 福祉国家へのアプローチ

A 5 判並製116頁/1600円

[3321-8・14]

大塚桂著

## 明治維新の思想

A 5 判上製172頁/3000円

[3202-8・05]

大塚桂著

## 日本政治学の先駆者

A 5 判上製172頁/3000円

[3289-1・11]

梅川正美・阪野智一・力久昌幸編著

## 現代イギリス政治〔第2版〕

A 5 判並製270頁/2400円

[3324-9・14]

梅川正美著

## サッチャーと英国政治①

新保守主義と戦後体制

A 5 判上製348頁/6500円

[3130-7・97]

梅川正美著

## サッチャーと英国政治②

戦後体制の崩壊

A 5 判上製440頁/8000円

[3161-7・01]

梅川正美著

## サッチャーと英国政治③・完

新保守主義の検証

A 5 判上製706頁/10000円

[3252-5・08]

政治学の高度化・分業化（細分化）・専門家の弊害とその克服の必要性が説かれている現在、これから政治学を学ぼうとする若い世代の総合的理解を助けるために編まれた概説書。

持続可能な福祉国家は維持できるのか。福祉国家の多角的（政治学・法学・財政学・社会福祉論）検討を行い、将来的「連帯社会型福祉レジーム」を提言する。研究者、学生必読の概説書。

幕末維新を嚮導した政治的イデオロギーとは、いかなるものであったか。御委（みよさし）の論理こそが幕府の正当性を根底から突き動かし、やがては大政奉還にまで至らしめた。本書では、政治権力論の観点から、一、御委の論理、二、大政奉還論、三、五箇条の御誓文について省慮する。

著者による日本政治学史研究の第四弾。幕末維新期に政治学の源流を求め解明する。海外政治事情や比較政治（制度・機構）論が重点的に研究されるとともに、共和政、多頭政、君主政体などの訳語が考案された。知識人らの理解力や洞察力には目をみはられる。学史研究にあたっての必読文献。

イギリス政治の基本を知り、その問題点と課題を考えるために不可欠の書。イギリス政治の内容について、議会、内閣、各省庁、地域分権、外交、憲法改革、教育政策、経済福祉政策、保守党、労働党、自民党について説明。第2版では、特に2006年以降の動きを独自の視点で詳しく解説する。

現代イギリスの新しい政治像を探求する。従来は民主主義のモデルであったイギリス政治も、70年代以降の激動期を経て深く変容してきた。この変容の現代的意味を探りながら、今後の方向を模索する。特にサッチャーの政治とその遺産について考える。

第一巻に続いて、イギリス戦後体制（政治のかたち）の構造と崩壊を論じる。戦後体制は、平板な民主主義でもなく牧歌的な福祉国家でもない。抑圧されたアイルランド人やスコットランド人および女性や黒人の視点を取り入れて実像を描く。戦後体制にかわる政治構造の模索の中にサッチャーを位置づける。

全3巻完結。新自由主義に関する必読の書。日本で最も本格的な研究。サッチャー登場の歴史的な背景を示し彼女の救世主的思想を分析する。首相官邸への集権とその崩壊を解明する。日本にも影響した民営化の理論と実態を論じ政治的な基盤の偏りを示す。金融グローバリズムの願望と帰結を記録する。

梅川正美編著

**比較安全保障**

主要国の防衛戦略とテロ対策

A 5 判上製300頁／5700円

(3313-3・13)

21世紀における防衛の目的と方法について、欧米・アジア主要国の安全保障戦略と体制の分析を通じ、これからの安全保障がいかに構築されるべきかを模索する。

下平拓哉著

**日本の安全保障**

海洋安全保障と地域安全保障

A 5 判並製154頁／2000円

(3372-0・18)

インド・アジア・太平洋地域における安全保障環境が厳しくなり、一国のみでは国の安全を保つことが不可能となっている現在、最新の安全保障状況を踏まえ、現場の視点から日本の防衛論を展開する。

下平拓哉著

**日本の海上権力**

作戦術の意義と実践

A 5 判並製190頁／2200円

(3377-5・18)

海に係わる国力の総和ともいえる「シーパワー」と「作戦術」という2つの視点を意識して、四面を海に囲まれた日本の安全保障を考え、国際社会における日本の責任の示し方を模索する。

戸澤健次著

愛媛大学法学会叢書18

**イギリス保守主義研究**

A 5 判上製228頁／4000円

(3343-0・16)

政治原理、政治制度において日本の政治を考える際に学ぶべき点の多い英国。幾世紀にもわたって歴史の様々な問題をくぐり抜け、政治史を彩ってきたイギリス保守主義を考察する研究書。

増子健一著

**新版権力エリート論**

A 5 判並製320頁／3500円

(3300-3・12)

政治社会的視点から、いかなる政治形態においても権力エリートは存在するのか。また、その果たしている役割は何か。デモクラシーとは矛盾しないのか。以上の視点から、ドイツ、アメリカの権力エリートの活動内容について解明した画期的研究書。

前田俊文著

久留米大学法政叢書12

**プーフェンドルフの政治思想**

比較思想的の研究

A 5 判上製276頁／4200円

(3187-0・04)

大陸自然法学の大成者プーフェンドルフの自然法思想を、ホッブズ、ロック、カーマイケル、ハチスン、ヒュームらの自然法思想と比較考察する。自然法と神学、正義論の根拠、国制論など市民社会理論の重要な論点の省察を通じて、これまでの社会契約説の構図を問い直すための新たな試みを行う。

横山謙一著

**ジャン・ジョレスとフランス社会主義運動**

ジャン・ジョレスの青年時代

A 5 判上製372頁／7000円

(3384-3・19)

政治家としてだけでなく思想家・歴史家・哲学者としても想像以上の大きな次元を有し、フランス国民から広く敬愛を受け続けているジャン・ジョレスの足跡と功績を辿る総合的研究書。

横山謙一著

國學院大学法学会叢書3

**ドレーフェス事件とジャン・ジョレス**

A 5 判上製364頁／7000円

(3394-2・20)

政府分離法に結実したフランス共和制のライシザシオンや、反戦平和運動の旗手としての活動等が、世界規模で評価されるジャン・ジョレスとドレーフェス事件に関連する研究の集大成。

児玉昌己著

久留米大学法政叢書13

**欧州議会と欧州統合**

EUにおける議会制民主主義の形成と展開

A5判上製578頁／6500円

国家主権の移譲と制限を本質とする連邦主義的な欧州政府の形成を鮮明にしつつあるEUは、その発展に比例して組織内部で民主主義の確保という深刻な問題に直面している。EUにおける議会制民主主義の形成という観点から、共同立法権者の地位を得た欧州議会の発展を鋭く分析、検証した学術研究書 [3186-2・04]

児玉昌己著

久留米大学法政叢書21

**現代欧州統合論**

EUの連邦的統合の深化とイギリス

A5判上製328頁／5000円

[3408-6・21]

欧州統合に果たす欧州議会の役割に言及し、過去と現在のわが国のEU認識に加え、EU法の連邦主義的な統治構造の整備に中心的な役割を果たす欧州会議の構造等に焦点を当てる研究書。

辰巳浅嗣・鷲江義勝編著

**国際組織と国際関係**

地球・地域・ひと

A5判並製370頁／2800円

現代に躍動するグローバルな国際組織およびリージョナルな国際組織の活動に照準を置きながら、国際関係の実態を解明する。その意味で本書は、国際組織をおもな対象とした新たな切り口からの国際関係論、あるいは逆に、国際関係の変貌に注目したダイナミックな国際組織論の企てと言えよう。 [3178-1・03]

田中嘉彦著

**英国の貴族院改革**

ウェストミンスター・モテルと第二院

A5判上製378頁／8000円

[3336-2・15]

日本のような議院内閣制を採用する単一国家における二院制の意義を探るため、英国の議会上院である貴族院の改革を素材に検討を試みる。

佐藤圭一著

**米国政教関係の諸相(改訂版)**

A5判上製316頁／3500円

米国では人々の行動を方向付ける究極的規範や秩序が神の真理の名において語られる。政治的文言は聖書の文言により権威と正統性が保証され、聖書の文言は政治的文言を得て実効性が保証される。本書は米国の政治の実態を政党と宗教団体を通じて分析する。また歴史的視点から政教分離裁判の問題点を解明する。 [3218-1・07]

神江伸介著

香川大学法学会叢書3

**政治老年学序説**

一胎動するニューシニア

A5判上製256頁／4500円

「本書では、従来型と新しい高齢者とが、25年分の国政選挙の調査データを二つに分けて分析して区別されることを明らかにした。それは、政治参加、党派性、争点意識という政治意識全体で確認され、同様な分析を高松市でも行い同じ結果を得ている。極端な不活性化とか保守化という現象は人生末期に追いやられているのである。」 [3199-4・05]

南充彦著

愛媛大学法学会叢書12

**中世君主制から近代国家理性へ**

A5判上製330頁／5300円

政治はいかに宗教から自立していったのか、中世の君主中心の王国から近代の非人格的国家への移行はいかに起きたのかを分析する。また主権、王権神授説、国家理性という三つの概念が政治の自立の異なった表現であったことも解明される。本書から本格的な国家理性研究が始まるだろう。 [0425-6・07]

土橋貴著

**国家と市民社会と公共性の変容**

資本の帝国の出現の中で

A5判上製282頁／3000円

日本では急速に中産階級がなくなり格差社会が出現しつつある。これをもたらしたのは資本の帝国アメリカであり、そのイデオロギーがグローバリゼーション(アメリカがもつける場を提供せよという要求)である。本書は帝国により国民国家と市民社会と公共性が変容されつつある事実を分析している。 [3238-9・07]



小田 健著

## 政治原論あるいは権力と民主主義の理論

46判上製186頁／2500円

政治原論は、所詮「見果てぬ夢」かもしれない……。このような状況で、あくまで原論に執着する筆者が、自ら「悪あがき」としてつづる本書は、実は読者に多くのヒントを提供するだろう。

〔3239-6・07〕

前田英昭著

## 戦間期における議会改革

A5判上製424頁／7000円

政治の民主化は、男子普選実現で一歩踏み出したが、選挙干渉・政治腐敗により停滞し、戦争突入後、軍靴に踏みつぶされた。戦後、新憲法下、生まれ変わった「国会」は、過去の経験を生かし、新たに有識者の声を聞いて「国民に開かれた国会」実現に努めてきた。なぜ、今また「国会改革」が求められるのか。〔3242-6・08〕

瀬川晃・梅津實編著

## 政治腐敗からの再生

A5判上製250頁／3300円

政治腐敗の問題につき法学、政治学の研究者8名が、それぞれの問題関心に基づきおこなった共同研究をまとめたもの。

〔3249-5・08〕

瀬川晃ほか著

## ダイバーシティ時代における法・政治システムの再検証

A5判上製220頁／4500円

グローバルスタンダードを批判的に考察すると同時に、それぞれの国家、地域、社会、民族などの個性性を尊重する「ダイバーシティ」の観点から、法・政治システムのあり方を見直す。

〔3320-1・14〕

大塚 桂編

## 大東亜戦争期の政治学

A5判上製358頁／3800円

大東亜戦争期、日本主義が高揚された。政治学者たちは高度国防国家、東亜協同主義、八紘一宇、五族協和など声高に叫んだ。政治権力に迎合し、追隨するのが政治学者の存在証明にはならないはずである。本書は、戦時下の政治学の全容を明らかにする。さらに平和と民主主義への政治学の可能性を探る。〔3234-1・07〕

武蔵勝宏著

## 冷戦後日本のシベリアン・コントロールの研究

A5判上製374頁／6000円

シベリアンに対する制服組の影響力の増大という現状を確認した上で、安全保障の名の下での自衛隊という実力組織による国家権力の行使が、国民の権利や自由の保障との間でバランスを保つことができるような自己拘束的なものにする方途を検討する。

〔3258-7・09〕

劉迪著

## 近代中国における連邦主義思想

A5判上製192頁／5000円

今まで、中国政治思想研究のなかで「連邦主義」がしばしば看過される。本書は、百年來の中国著名政治家の言説、立法運動及び憲法・法規の分析を通じて中国の連邦主義を浮き彫りにし、その全容を明らかにする。さらに中国の連邦主義の現状、今後中国政治発展と連邦主義との関係をも提示した。〔3259-4・09〕

木下奈津紀著

## 韓国財閥と政治

大字を事例として

A5判上製152頁／3000円

政経癒着の中で成長を遂げた韓国財閥。1999年に解体された「大宇グループ」を題材として、韓国財閥を政治史的な視点から考察し、韓国における財閥と政治の関係性を明らかにすることを試みた研究書。

〔3403-1・21〕

福田耕治編著

## EU・欧州統合研究〔改訂版〕

—“Brexit” 以後の欧州ガバナンス

A5判並製364頁／3100円

ユーロ危機、移民・難民問題、頻発するテロの脅威、そしてイギリスのEU脱退問題。多様かつ深刻なリスクに直面するEU・欧州統合の現状を俯瞰するとともに、EU社会の連帯やデモクラシーが危機に陥った背景、原因を分析する。初学者から実務家・研究者まで、幅広く対応するテキスト。  
〔3355-3・16〕

福田耕治編著

## EU・欧州公共圏の形成と国際協力

早稲田大学 EU 研究叢書 1

A 5 判並製188頁／1800円

EU 地域統合では欧州市民が国境を越えて共生する公共空間、「欧州公共圏」の形成と国際協力が要請されている。EU の諸機関、行政、警察・司法、安全保障、地域、保健医療やメディアのネットワークと欧州公共圏の形成とのかかわり、国境を越えた公共圏構築のための戦略と課題を明らかにする。  
〔3279-2・10〕

福田耕治編著

早稲田大学現代政治経済研究所研究叢書44

## EUの連帯とリスクガバナンス

A 5 判並製288頁／3700円

EU/欧州諸国が、金融・財政危機、難民・移民危機、テロリズムなど多様かつ深刻なリスクに直面し、EU 崩壊の危機が懸念されるなかで、喫緊の課題に答えようとする共同研究の成果。  
〔3350-8・16〕

福田耕治編著

## EU・欧州統合の新展開とSDGs

A 5 判並製300頁／3200円

EU が、加盟国や民間企業、NGO とともに SDGs に取り組むことの意義を検討し、EU の公共政策の最新動向等を学際的に明らかにする。早稲田大学 EU 研究所設置20周年記念論文集。  
〔3432-1・23〕

山本直著

## EU 人権政策

A 5 判上製390頁／7500円

ヨーロッパ27カ国よりなる超国家的機構・EU は、普遍的であるべき人権をどのように保護しようとしているのか。本書は、EU とその加盟国による実践、他の国際機構ならびに域外諸国との関係、さらには欧州憲法条約やリスボン条約における取り組み等を通じて、その素顔に接近するものである。  
〔3278-5・11〕

森原隆編

## ヨーロッパ・「共生」の政治文化史

A 5 判上製424頁／6000円

ヨーロッパとは何か。ヨーロッパの特質とは何か。現代のEU（ヨーロッパ連合）が直面する経済危機や課題をふまえて、古代から現代にいたるヨーロッパ社会のさまざまな地域・領域における「共生」の実態を検証する。「共生」をめぐる統合・協力・同盟などの諸相を政治文化史的観点から解明する。  
〔7096-1・13〕

森原隆編

## ヨーロッパ・エリート支配と政治文化

A 5 判上製350頁／5000円

ヨーロッパとは何か。ヨーロッパの構造的特質とは何か。現代のEU（ヨーロッパ連合）が直面する問題点をふまえて、古代から現代にいたるヨーロッパ社会のさまざまな地域・領域におけるエリート支配の実態を検証する。エリートを中心とした興隆・統合・闘争などの諸相を政治文化史的観点から解明する。  
〔7086-2・10〕

森原隆著

## ヨーロッパの政治文化史

統合・分裂・戦争

A 5 判上製326頁／4500円

現在ヨーロッパの危機の本質を歴史的観点から考察する。統合・分裂・戦争というテーマのもとで、気鋭のヨーロッパ史研究者が、古代から近現代に至るヨーロッパ史上のさまざまな事件や問題を再検討する。政治文化史の研究手法により、歴史的表象としての意味を解説する。  
〔7108-1・18〕

石見豊著

## 英国の地域政策

A 5 判上製260頁／5000円

〔8082-3・20〕

都市問題に本格的に取り組んだ「パーロー・レポート」の分析を基に、19世紀末から現在まで英国の農村と都市の間で繰り広げられてきた機関（組織）による地域政策の歩みを分析する。

山本武彦編著

政治経済叢書

## 国際関係論のニュー・フロンティア

A 5 判上製404頁／3000円

〔3276-1・10〕

21世紀の新時代に入って国際関係は、それまでのどの時代にも増して混沌の様相をあらわにしてきた。9・11同時多発事件以降、国家の役割は低減し、逆に非国家主体の影響力が増大している。こうした混沌を読み解き、新時代の国際関係の構造と機能を解き明かすためにも国際関係論の新機軸を打ち出す。

山崎功著

## 郷土とアジアの政治文化・国際関係

アジアのアイデンティティを考える

A5判並製174頁／2000円

〔3316-4・13〕

「地方」の観点から、近代日本のアジア関与・アジア認識を振り返り、日本と東南アジアの政治文化の比較を試みる。多様な東南アジア社会を対象に、地域理解、アジア認識を深めることができるよう、わかりやすく解説する。

寺本康俊・永山博之編著

## 国際社会における平和と安全保障

広島大学公開講座

46判並製297頁／2600円

〔3409-3・21〕

日本を含む国際社会において、平和と安全保障について、これまでの歴史的な経緯を分析すると同時に、現在および将来において、平和を維持し、安全保障をより確実なものにするための課題についての新たな知識を読者の方々に提供する広島大学公開講座の成果。

平田仁子著

## 気候変動と政治

気候政策統合の到達点と課題

A5判上製244頁／4800円

〔3414-7・21〕

異常気象や自然災害などの気候変動を巡る政治課題を明らかにし、「気候政治」と呼ぶべき政治の在り方を導き出す試み。

岡野裕元著

## 都道府県議会選挙の研究

A 5 判上製400頁／8000円

〔3416-1・22〕

戦後日本の都道府県議会選挙（1947年4月～2018年3月の期間）を対象とし、選挙区構成（1～22人区）や政党間の競合関係について、個別選挙区単位の視点から長期的、体系的に明らかにし、日本の民主主義の健全な発展に資する研究書。

## 行政学・地方自治

佐藤俊一著

## 地方自治要論〔第2版〕

A5判上製336頁／2900円

制度の解説に加え実態も論述する新しいテキスト。地方自治の類型論のもと戦前・戦後の国自治制度の特色が明らかにされ、戦後自治の実態及び世紀末の分権改革の結果と更なる改革課題が中央・地方、自治体内部、自治体・住民、自治体間の4関係面と税財政面から明解にされる。初版刊行後の新動向に対応。〔3211-7・06〕

中村祐司著

## 政策を見抜く10のポイント

A5判並製118頁／1000円

公務員制度改革、マイナンバー制度、震災対応における政官民協力のあり方などの国レベルから、地方分権、市町村合併、地方行革、知事制度、首長選挙、議会基本条例などの地方レベルの重要課題を取り上げて政策課題を検討するテキスト。〔3344-7・16〕

藤井浩司・縣公一郎編

政治経済叢書

## コレク行政学

A5判上製242頁／2500円

行政学が直面するパラダイムの揺らぎの先にあるものが、新たなアイデンティティの確立に繋がるのか。現代行政が置かれている現状と直面する課題、そして将来の展望を示すこと、そこに行政学教科書としての使命の一端を見出している。行政を社会全体のコンテクストの中で捉えようと試みた一冊。〔3230-3・07〕

縣公一郎・藤井浩司編

政治経済叢書

## コレク政策研究

A5判上製242頁／2500円

基盤としての政策段階論を概観したうえで、政策現象の決定要因として個人の行動、制度とそれらの融合、さらにアイデア、言説に目を向ける。そして政策現象に関連するアクター相互関係の捉え方を検討すると共に政策内容の転移や波及の論理を探り、最後に政策段階論への補充という構成で論じられる。〔3231-0・07〕

細川幸一著

## 消費者政策学

A5判上製310頁／3000円

社会科学における19世紀の発見は労働者であり、20世紀のそれは消費者であるといわれる。しかし、労働者政策と違い、消費者政策の体系化や理論化の試みは未だ十分なされていない。本書は、消費者政策学の確立を目指し、既存の学問領域との関係や立法過程・政策遂行過程に言及する初めての書である。〔3228-0・07〕

大谷實・太田進一・真山達志編著

## 総合政策科学入門〔第2版〕

A5判上製318頁／3000円

混沌とした現代社会では、問題解決のための「政策」を策定、実施、評価する高度な専門性が必要とされている。総合対策科学とは、そのような専門性に理論的基礎を提供する学問体系である。本書は、総合対策科学の目指すものを明らかにし、既存の諸科学との関係を解説した入門書である。〔9129-6・05〕

佐藤俊一著

成文堂選書52

## 日本地方自治の群像〔第1巻〕

46判上製254頁／2600円

戦前から現在に至る日本地方自治の思想と実践に大きな足跡を残した人物の再発掘シリーズ。「東洋経済新報」時代の石橋湛山の地方分権改革論／戦前社会主義者松永義雄と織本侖の地方分権改革論／井上円了の田学と新渡戸稲造の地方学／鈴木俊一を中心にみる内務官僚たちの戦前と戦後／飛鳥田一雄による横浜革新市政の展開〔3277-8・10〕

- 佐藤俊一著  
成文堂選書53  
日本地方自治の群像 [第2巻]  
46判上製262頁／2600円
- 民本主義者吉野作造とその批判者山川均・桐生悠々に至る地方自治論／自治労結成と地方自治研究集會創成に至るリーダーたち／松下竜一の「暗黒の思想」(文明生活と自然の共生)論／井手敏彦沼津市長の〈現場の思想〉とオルタナティブ／経済学者玉野井芳郎らの地域主義の思想と地域分権論 (3288-4・11)
- 佐藤俊一著  
成文堂選書56  
日本地方自治の群像 [第3巻]  
46判上製374頁／3700円
- 農本主義者山崎延吉の農村自治・農村計画・農民道論／台湾議會設置と台湾地方自治連盟をめぐる林獻堂／大山朝常のゴザ市政と沖縄独立宣言／岩手県沢内村村長の深澤晟雄による〈生命行政〉の創成とその歴史／岩根邦雄の生活クラブ生協創設と政治的代理人の思想 (3307-2・12)
- 佐藤俊一著  
成文堂選書57  
日本地方自治の群像 [第4巻]  
46判上製314頁／3200円
- 後藤新平の〈文装的武備〉論による大連都市建設をめぐる人びと／羽仁五郎の〈都市自治体の思想〉／二人の文学者・新居格(杉並区長)と杉浦明平(渥美町会議員)による戦後期地方自治の実践体験／二人の大阪市長・戦前の関一と戦後の中馬馨による都市建設 (3319-5・13)
- 佐藤俊一著  
成文堂選書58  
日本地方自治の群像 [第5巻]  
46判上製398頁／3900円
- 安部磯雄と片山潜にみる明治都市社会主義の軌跡／市川房枝を基軸にした婦選獲得運動と自治政へのコミット／法定都市計画技師・石川栄耀の都市計画思想の変転と市民自治／原口忠次郎から宮崎辰雄市長に至る〈株式会社神戸市〉の都市経営の思想と実践 (3329-4・14)
- 佐藤俊一著  
成文堂選書59  
日本地方自治の群像 [第6巻]  
46判上製336頁／3500円
- 地方自治と政党政治の関係をめぐる諸見解／超然主義者の山県有朋と井上友一の政党政治排除論／社会主義者大山郁夫の都市自治観と政党政治排除論／民本・自由主義者の吉野作造と田沢義鋪の地方自治観と政党政治排除論／戦間的自由主義者長谷川如是閑の国家論と都市自治論／政治学者高橋清吾の政党政治不可避論 (3338-6・15)
- 佐藤俊一著  
成文堂選書60  
日本地方自治の群像 [第7巻]  
46判上製340頁／3500円
- 小河滋次郎と林市蔵による方面(民生)委員制度の設計・運用と〈公私〉関係の変転／田川大吉郎の立憲政治論と都市経営論／C.A.ピアードの市政学(都市行政学)と『東京市政論』／宮田正植村長を中心にしたゼロからの村づくり・秋田県大湯村の五〇年 (3356-0・16)
- 佐藤俊一著  
成文堂選書61  
日本地方自治の群像 [第8巻]  
46判上製374頁／3700円
- 明治国家のグランド・デザイナー井上毅の地方自治制度論／池田宏の都市計画論と特別市制・都制論／アナーキスト石川三四郎の土民生活(=自治)論／火の国の山(下笠ダム事件の室原知幸と語り部の松下竜一)と海(水俣病事件の川本輝夫と語り部の石牟礼道子)における〈相克〉と自治 (3367-6・17)
- 佐藤俊一著  
成文堂選書62  
日本地方自治の群像 [第9巻]  
46判上製352頁／3600円
- 「制度」から「精神」としての自治を歩んだ明治の異端児・田中正造／近代報徳主義・運動における地域振興と地方自治——岡田良一郎・良平と一木喜徳郎——／さまざまな権藤成卿像と彼の社稷自治・国家論／中田鉄治々張市長の観光開発政策と破綻・財政再建団体へ (3381-2・18)

- 佐藤俊一著  
成文堂選書63  
日本地方自治の群像 [第10巻]  
46判上製368頁／3600円 (3392-8・19)
- 吉田勝光著  
地方自治体のスポーツ立法政策論  
A 5 判上製182頁／2500円  
法治主義の下、スポーツ政策にあっても、法に基づくことが要請される。本書は、地方自治体のスポーツ政策を立法的視点から論じた初めての研究書である。特にスポーツ基本条例の制定に関する諸問題を検討し、また指定管理者制度に関する条例を分析する等、スポーツに関する条例を考察した。(9160-7・07)
- 吉田勝光・吉田隆之著  
文化条例政策とスポーツ条例政策  
A5判上製518頁／10000円 (3361-4・17)  
文化条例とスポーツ条例を概観し、比較・検討することで、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催・文化プログラムの展開にむけ、文化・スポーツ政策の実務的な提言をする。
- 中村祐司著  
スポーツの行政学  
A 5 判上製458頁／10000円  
国家や地方自治体、さらには地域社会に浸透するさまざまなスポーツ政策を対象に、行政学の研究者が現場主義にもとづく実証研究の蓄積を通じて、果敢な分析と考察を行い、まさに学問としての「スポーツの行政学」を構築するに至った初の本格的な研究書。その対象は日・英・豪といった先進諸国に及ぶ。(3203-6・06)
- 中村祐司著  
スポーツと震災復興  
A5判並製122頁／2400円 (3341-6・16)  
東日本大震災によって機能停止となったスポーツの状況を把握し、震災復興に貢献するスポーツ行政のあり方を追求する。東京オリンピックへ向けたスポーツ諸活動を追う。
- 中村祐司著  
危機と地方自治  
A 5 判並製104頁／2000円 (3352-2・16)  
東日本大震災後5年が経過し風化現象が顕在化する中で、地方行政による震災対応の事例を抽出し、政策や行政の機能、住民認識、復旧・復興の担い手といった問題関心から考察を行う。
- 中村祐司著  
2020年東京オリンピックの研究  
メガ・スポーツイベントの虚と実  
A5判上製192頁／3800円 (3380-5・18)  
2020年東京オリンピック・パラリンピック開催で盛り上がる中、それに関わる個々の事業や事象が、虚と実を両極とする座標軸のどこに位置するのか行政学、政策学、地方自治の観点から探る研究書。
- 中村祐司著  
2020年東京オリンピックを問う  
自治の終焉、統治の歪み  
A5判上製124頁／2500円 (3397-3・20)  
スポーツ競技団体の自治の終焉現象と大会の運営や経費の説明から透けて見えるガバナンスの歪みという二つの問題に焦点を当て、東京五輪を問い直す。

中村祐司著

## 2020年東京オリンピックの変質

コロナ禍で露呈した誤謬

A5判上製136頁／2700円

政府(国)、東京都、IOC、組織委員会、スポンサー企業といった中枢アクターに焦点を当て、ガバナンス、政策実施プロセス、政策ネットワーク、コア・エグゼクティブといった視点から、一連の諸行為に見られる特徴を明らかにする。

[3411-6・21]

中村祐司著

## 2020年東京オリンピックとは何だったのか

欺瞞の祭典が残したもの

A5判上製114頁／2700円

東京五輪開催をめぐる諸課題の噴出と、その対応における政府、組織委、都、IOCといった東京五輪利害共同体のネットワーク・ガバナンスの作動や機能の特徴を、行政学の欧文文献の視点も取り入れつつ、明らかにしようとする。

[3418-5・22]

石元悠生著

## 東京五輪招致の研究

A5判上製152頁／3000円

五輪招致に焦点をあて、様々な領域が特定の政策行動に移るための方策を、各領域の諸アクターが有する資源(リソース)交換による相互作用、相互調整という観点から検討する研究書。

[3417-8・22]

村上博著

香川大学法学会叢書6

## 広域行政の法理

A5判上製332頁／5500円

市町村合併・道州制論が大いに議論され、広域行政論が学問的にも大きな関心となっている。本書は、市町村合併・道州制以外の広域行政処理手法として、憲法上の地方自治の保障という観点から、自治体の協力・共同を通じて広域行政に対する民主的な自治体間の共同処理を対案として提起する。

[3257-0・09]

川崎信文・森邊成一編著

広島大学公開講座

## 道州制

世界に学ぶ国のかたち

46判並製256頁／2800円

道州制(リージョナリズム)が世界で話題となっている。その文脈を、仏・独・英・米さらにインドや台湾、そして日本の歴史や実態、自治体実践の中に尋ねた。国際的な比較の内に、道州制を考えるための必読書。特にアジアの国や地域への言及は類書に例を見ない。広島大学法学部の市民講座をここに公開。

[3272-3・10]

高橋洋著

## 地方自治の生成と展開

A5判上製258頁／5000円

主要目次 第一章「近代地方自治」の生成に関する考察…/第二章 プロイセン一八〇八年都市条例の検討/第三章 西南ドイツ＝バーデンにおける地方自治制の歴史/第四章 ヨーロッパ地方自治憲章—その紹介と試訳—…/第五章 地方自治権保障の法的性格と自治体の固有の作用領域/ほか

[0374-5・04]

荒木昭次郎著

## 現代民主政治と自治

地域住民自治による地域運営のデザイン

46判上製220頁／2000円

自治の原点を追求しつつ、自治が充実し、地域社会が豊かになっていくためには何が必要で、どのように住民自治を充実強化していかなければならないかについて、論点を整理し体系的に論じる。

[3412-3・21]

荒木昭次郎・澤田道夫・黒木誉之・久原美樹子著

## 現代自治行政学の基礎理論

地方自治の理論的地平

A5判上製228頁／3200円

自治行政にとって今必要なのは、地域とともに生きる多様なアクターの自治力であり、それらが互いに力を合わせ、心を合わせ、助け合っていくことである。本書は、これまでおざなりにされてきた《住民自治の充実・強化》に焦点を当てながら、自治の現場に立った「新しい自治行政の基礎理論」を展開する。

[0530-7・12]

松塚晋輔著

久留米大学法政叢書11

## 民営化の責任論

A5判上製204頁／3200円

本書は民営化や民間委託が行われた後、事故等が生じた場合、誰が不正行為責任を負うのかを、国家賠償法解釈を軸に論じたものである。その際、比較研究の対象としてドイツの職務責任規定や国家責任法の「官吏」概念に関する判例や学説を整理し、そこから示唆を得るという形で展開していく。 [0355-9・03]

永松俊雄著

## 政策力の基礎

意思決定と行動選択

A5判並製270頁／2600円

[8076-2・16]

行政の基本は人間理解にあり、人間、自分、そして社会を「知る力」こそが社会を維持し創造する政策力の基礎である。行政、政策とは何かについて学問的知見と実践知の接合を試みた意欲作。

山下永子著

## 地方の国際政策

連携・ネットワーク戦略の展開

A5判上製220頁／3500円

本書は、わが国地方の国際政策の特徴や今後の方向性等を分析した上で、近年、世界とくにアジア地域で活発化している地域間国際ネットワーク戦略について論じたものである。マーカッターとして豊富な経験を持つ著者によるマーケティング的研究アプローチは新鮮味があり、分析、提言内容も実践的である。 [9170-6・08]

上野眞也著

熊本大学法学会叢書6

## 持続可能な地域社会の形成

A5判上製322頁／5300円

本書は、少子高齢化の進展や小規模自治体の財政力減少の影響を受け、その存続が危機的状況にある山間地域集落の維持に関して、どのような公共政策のあり方が必要なのか、質的比較分析、共分散構造分析、政策分析などを駆使し、政治学的な視点から持続可能な地域社会の形成について論じたユニークな書。 [8055-3・05]

山下勉編

熊本大学地域連携フォーラム叢書

## 地域を創る

46判並製248頁／1800円

歴史的転換期にある地域に焦点をあて、経済・法律・文化など多面的な視点から地域が抱える様々な課題について、論考したものである。8章建ての各テーマは、自治体職人とのふれあいによって喚起されたものを中心となっており、大学生・自治体職員・一般市民向けの入門書である。 [9125-3・04]

柿本竜治編

熊本大学政創研叢書2

## 坪井川とともにくらす

A5判上製198頁／2500円

街の中を流れる川は、市民に潤いと安ぎの空間を与える一方で、一旦氾濫すると流域に甚大な被害ももたらす。熊本県熊本市の中心市街地を流れる坪井川は、城下町熊本の本歴史とともにその役割を変化させてきた。本書は、その坪井川を歴史、まちづくり、防災の視点から捉え、川とともにくらすことを考える。 [9165-2・07]

上野眞也編

熊本大学政創研叢書1

## 政令指定都市をめざす地方都市

A5判上製224頁／3000円

いま全国で、政令指定都市をめざした市町村合併の取り組みが相次いでいる。本書は、そのような都市間競争の激化と、大都市への成り上がりを求める自治体の動きについて、政治、地方自治法、財政、流通、交通、道州制など多面的な視角から分析を行い、国と地域のあり方について考える。 [9157-7・07]

井芹道一著

熊本大学政創研叢書4

## Minamataに学ぶ海外

水銀削減

A5判上製236頁／2500円

石炭火力発電所からCO2と共に大気中に排出される水銀。雨で海に落ち、食物連鎖で地球規模による魚の汚染が広がっている。汚染防止のため、各国に警告をする世界の科学者。国連に条約規制を求めるEU、経済への影響で反対する米国、水俣病への影響から腰の重い日本。世界の視点でミナマタの教訓を問う。 [9172-0・08]



中川義朗編

熊本大学21世紀地方自治叢書1

**地方分権と政策**

46判並製216頁／1600円

本書は、地方分権の中心的担い手である市町村に焦点を当て、まず総合的視点から市町村の本質的定義を試み、その行財政改革の課題と方向性を明示した上で、一方で都市化に伴う「都市内分権」の課題を、他方で独自のまちづくりを進める旧湯布院町と、自立のまち福島県大津町の実態と課題を分析する。(9155-3・07)

内野明徳編

熊本大学政創研叢書6

**肥後ハマグリ資源管理とブランド化**

A 5 判上製248頁／2500円

日本在来のハマグリは縄文時代から最も身近な貝類の一つで、熊本は日本一の生産県である。本書は、生息地である有明海の概要と変貌、文化誌・生物学、日本各地の生息状況を解説するとともに、熊本産ハマグリを増やし安定漁獲するための資源管理と肥後ハマグリとしてのブランド化の必要性を提言する。(9189-8・09)

山村研一・上野真也編

熊本大学政創研叢書7

**地域を創る大学の挑戦**

A 5 判上製298頁／2500円

近年、大学発の地域貢献に社会の期待が高まっている。本書は全国にもいち早く大学政策シンクタンクとして活動を展開してきた熊本大学政策創造研究センターの取り組みを紹介する。また佐々木毅・姜尚中先生を交えて行った『21世紀社会の構想』フォーラムでの貴重な講演内容を収めている。(9205-5・10)

松本泰道・上野真也編

熊本大学政創研叢書10

**地域を育てる大学の挑戦**

A 5 判上製238頁／2500円

政府や地方自治体の政策のみならず大学改革においても地域創生が求められ、地域の活力をどう付けるかに社会的関心が高まっている現在、地域づくりの実践における極意を伝える最適書。(9258-1・16)

山中進・上野真也編

**山間地政策を学ぶ**

A 5 判並製336頁／1800円

日本人の心象風景ともいえる山村は、いま人口の高齢化や減少、そして経済的機会の減少からその存続が危殆に瀕している。本書は、山間地の問題を科学的に政策として考えるための種々のアプローチを紹介し、学生のみならず行政職員、地域づくりに取り組む人々に有用な知識や技術を伝える入門テキスト。(9204-8・10)

鈴木康夫著

**中山間地域の再編成**

A 5 判並製250頁／2400円

九州の農地地域／土地利用からみた中山間地域の条件不利性／土地利用の変遷／ランドサ画像による阿蘇地域の草地利用判読／中山間地域における環境保全型農業の展開と持続可能性／グリーンツーリズムによる農村活性化／山間地社会の再生と大学の地域連携。(9241-3・14)

山中進・鈴木康夫編著

**熊本の地域研究**

A 5 判並製306頁／2700円

マニュアルのない地域づくりの仕組みを模索する中で、改めて多様な特性を持った地域を、総合的にどう捉えればよいのか。再び地域への関心が高まりをみせている今日的状況を考え、熊本について見つめ直す研究書。(9254-3・15)

山中進著

**熊本の地域産業**

A 5 判上製268頁／4200円

地域の多様な自然や歴史、生活の中から生まれた地域産業は、地域の土地柄・個性を色濃くあらわしている。熊本県における地域産業の生成・展開、変容のあり方を、地域との関わりに着目しながら考察しつつ熊本の地域的性格についても言及し、地域産業からみた熊本の地域論を展開する。(9236-9・13)

畦地真太郎・米田真理・中垣勝臣編著

朝日大学産業情報研究所叢書12

## 地域アイデンティティを鍛える

観光・物流・防災

A 5 判上製202頁/3000円

[5065-9・15]

地域住民が地元誇りと愛着をもって生活し行動するという地域の魅力を考え、そのための地域アイデンティティの確立、再確認による理想的な地域社会づくりを目指す研究成果。

下條美智彦編著

## イギリスの行政とガバナンス

A 5 判並製282頁/2800円

自治の先進国イギリスにける最新の行政運営をガバナンス（共治・協治）論を軸に追求する。それは政府・官主導でなく、政府と市民が協働で取組む方式を探るものである。イギリス各地でも多層化・分散化しているガバナンスの実態をとらえる。日本の近代化を先導したイギリスから地方活性化の道を探る。 [3240-2・07]

水嶋一雄編

## 農業地域情報のアーカイブと地域づくり

改訂版

A 5 判並製272頁/2000円

食の安全の危機はモラルやチェック体制だけの問題でなく、40%を切った食料自給率、食料を生産する農山村地域の実状に遠因がある。本書は全国の貴重な農業地域情報をデジタル化によって、利用しやすいかたちで構築し、農山村地域や農業生産の持続的活性化に資する。各地域の農業生産の意欲的試みも紹介。 [9198-0・10]

吉田良生・中垣勝臣・服部徳秀・荻久保嘉章編著

朝日大学産業情報研究所叢書8

## 市民・企業・行政の協働による創造的地域づくり

A 5 判上製228頁/3000円

「まちづくり」の成功事例は、行政主導の発想から市民参加、あるいは市民と行政との協働という発想に転換すべき時期に来ていることを教えている。本書では、これに企業とその集積を加えることにより、経済活動が活発で社会的活力のある魅力的な地域を創造するための方法を考察している。 [5049-2・05]

荻久保嘉章編

朝日大学産業情報研究所叢書9

## 産業情報社会

その変遷と展望

A 5 判上製314頁/3000円

我が国における産業情報社会の発展史に目を向けると、失われた10年、グローバル化、ITバブル、環境問題など、いくつものキーワードに遭遇する。地域産業から日本経済、さらには海外の情勢まで幅広い分野に精通した12名の大学教員が、孔子の時代から現在に至るまでの産業情報社会を熱く斬る。 [5052-9・09]

加藤里美・中垣勝臣編

朝日大学産業情報研究所叢書10

## 全球化社会の深化

—異文化をめぐる化合・還元・触媒—

A 5 判上製254頁/3000円

<主要目次>全球化時代の日仏関係/スペインの地域的多様性/「小資」・「80後」と村上文学/異文化体験と就職活動/英語授業における学習文化形成過程/内なる異文化/きっかけとはほうとうか?/日本の伝統文化に根ざした「日本型雇用」/エスニック・ジョークを通した日本文化/全球化時代の携帯 [5056-7・11]

荻久保嘉章著

## 新版 杞柳産業の盛衰

地場産業産地の淘汰

A 5 判上製266頁/3000円

かつて全国各地に地場産業として大小の山地を形成していた、「柳行李」をはじめとする杞柳製品を供給する杞柳産業。その産地形成にかかる知識の伝播のみならず産地から市場への製品の動き等を整理し、わが国の杞柳産業の概要と個性について、時間の流れの中での把握を目指す。 [5060-4・13]

忍田和良・土井義夫編著

朝日大学産業情報研究所叢書11

## 地域物流市場の動向と展望

A 5 判上製216頁/3000円

適切な努力が報われ、公正な競争条件が整った物流市場のあり方を探るため、国の中央、岐阜地域で需給両分野からの声を聞く。

[5059-8・13]

朝日大学大学院グローバルロジスティクス研究会監修  
**地域物流市場の新課題**

A5判上製234頁／3000円

[5068-0・17]

グローバル化の進展、ICTの発達と社会経済の変化、国民生活環境の変化、社会的制約の拡大といった状況変化が、物流の未来を大きく変えるとされる現在における物流の諸問題に関する研究の成果。

朝日大学大学院グローバルロジスティクス研究会監修  
**トラック運送事業の現状と未来**

A5判上製242頁／3000円

[5070-3・22]

「トラック運送事業」に関して、理論的・実務政策的な記述により、荷主、物流事業者、行政・地域の動向など、グローバルな視点から物流事業者の役割・課題等を探る。

新井鎮久著

**産地市場・産地仲買人の展開と産地形成**  
 関東平野の伝統的蔬菜園芸地帯と業者流通  
 A 5 判上製216頁／2700円

関東地方の伝統的蔬菜産地の成立・発展過程を、業者流通と付随する産地形成機能を視点に論述。とくに高度成長経済期以降、流通近代化政策一集散市場体系の構築と建値市場化一の進行するなかで、前近代的側面を含む業者流通の軌跡とその地域効果について、3大都市圏との比較検証を試みた先見的異色の書。[9231-4・12]

新井鎮久著

**近世関東畑作農村の商品生産と舟運**  
 江戸地廻り経済圏の成立と商品生産地帯の形成  
 A 5 判上製542頁／8300円

農業・農村地域の領主的・農民的流通論の枠を超えて、水運の展開が農業生産・農民生活の諸側面に及ぼす影響、とくに河岸の結節機能と農業地域形成力に注目し、解明を深めた先駆的試み。

[9256-7・15]

新井鎮久著

**関東畑作農村の近代化と商品生産**  
 その変遷と動因  
 A 5 判上製472頁／8000円

「行政と農業地域形成機能」を基本的視座として、前半で近世関東畑作農村の商品生産性について検討し、後半では東西関東畑作農村地域論を展開する。『近世関東畑作農村における商品生産と舟運』の姉妹編。

[9272-7・18]

佐藤祐介・松岡勝実編

**消費者市民社会の制度論**  
 A 5 判上製230頁／2500円

「消費者市民社会」を、行政のあり方、地域連携、教育機関の取り組み、法律論等様々な角度から論じる。消費者問題に先駆的に取り組む盛岡市で、学者・教育者、弁護士、立法担当者、消費者行政の窓口担当者、地域住民がつどい、身近なコミュニティーから出発し、消費者が主役のネットワークづくりを考える。[2576・3・10]

鈴木隆史・早川誠編  
 グリーンブックレット1

**地域政治・行政とモラル**  
 市民参加を通じての日米の実践から  
 A 5 判並製90頁／800円

地方分権改革が進む中、権限や補助金の配分をめぐる制度改革だけでなく、良質のモラルを備えた市民による地域政治・行政への参加が重要になっている。地方政治家が取り組むべき課題や望ましい市民教育のあり方などを、日米双方の政治家・研究者・教育者を交えて討論したシンポジウムの記録である。[9195-9・10]

松岡勝実・金子由芳・飯考行編

**災害復興の法と法曹**  
 未来への政策的課題  
 A 5 判上製354頁／3400円

東日本大震災から5年、被災地はどれだけの「復興」を遂げたのか。災害復興の現場で直接実務に携わってきた筆者が集い、大規模津波災害にして地方型災害の本質に関わる法律問題を正面から取り上げる。

[2684-5・16]

立正大学法学部・立正大学法制研究所編  
グリーンブックレット⑨

## 大震災の法と行政

A 5判並製86頁／800円

[9237-6・13]

二塚信・小野友道・上野真也編

## 検証：新型インフルエンザ2009

そのとき学校は、地域社会は、行政はどう対応したか

A5判上製348頁／2500円

杉山雅洋・国久莊太郎・浅野光行・苦瀬博仁編著

## 明日の都市交通政策〔改訂版〕

A5判並製268頁／2500円

岡野行秀・杉山雅洋著

## 日本の交通政策

A 5判上製194頁／3000円

[5064-2・15]

S. クールマン・H. ヴォルマン著  
縣公一郎ほか訳

## 比較行政学入門

ヨーロッパ行政改革の動向

A5判並製420頁／3500円

[3410-9・21]

2011年3月11日に発生し、未曾有の被害をもたらした東日本大震災。こうした震災への対応について、法と行政の視点から開催された、立正大学法学部創立30周年記念シンポジウム。

2009年の新型インフルエンザの大流行は世界中をパニックにおとし入れる程のインパクトを持った事件であった。そのとき行政は、医療機関は、学校は、マスメディアは、そしてワクチンメーカーはどう対処したのかを、当事者へのインタビューや振り返りで検討した。未来への貴重な教訓の記録である。

21世紀初頭の交通政策、交通計画をどのように考えるべきかを、都市に焦点をあわせて検討したもの。とかく人の交通を中心に論じられがちである都市交通論の中で物流の分野をも積極的に検討対象とし、文系・理系双方の視点から広範に究明した点に特色。世代間の費用負担問題にも言及している。

相対的な意味で社会・経済的にインパクトの強い鉄道政策、道路（自動車交通）政策を中心に交通政策協議会の前身である運輸政策審議会時代になされた交通政策の背景を客観的に整理し政策論議を検証する。

ヨーロッパ主要6か国の行政改革動向について、新制度論の観点から比較分析し、比較行政学をどのようにして議論すべきかに関する方法論を提示する。行政比較に最適な1冊。

## ア ジ ア

西原春夫著平山郁夫・松本健一・山口淑子対談

## 21世紀のアジアと日本

46判並製276頁／1800円

[9103-2・02]

ヨーロッパ統合の根源を現地で探求した著者が、ヨーロッパとアジアの異同に配慮しつつアジア共同体形成の可能性と、そこでの日本の役割を明確にわかりやすく説いた好著。3人の著名人との対談も異色でおもしろい。

三浦信行編

## 21世紀アジア学

46判並製282頁／1800円

[9104-0・02]

あらゆる次元で激変をとげる“21世紀アジア”。これまで別々のことと思われてきた様々な現象が密接に融合し、親密と思われてきた事柄が知らぬ間に別離する。そうした学的常識さえはじく、その核心に迫る。学問再編の微かな兆し

今井弘道編

## 発展する東アジアと法学の課題

A5判上製340頁／6800円

[3246-4・08]

2004年9月開催の第五回東アジア法哲学シンポジウムにおいて、歴史認識と文化の問題／東アジア法の可能性／グローバル化の中の東アジアと法の問題／東アジア地域の発展とEUとの比較／東アジア的家族と女性問題などのテーマの下になされた報告を内容とするもの。

岩崎育夫編

拓殖大学研究叢書（社会科学）31

## 新世代の東南アジア

政治・経済・社会の課題と新方向

A5判上製260頁／3000円

[9169-0・07]

現在、東南アジア諸国では指導者や国民の世代交替が進み、国内構造や地域構造も独立時から大変容を遂げた。新世代時代の地域諸国の政治、経済、社会分野の課題は何か、今後どの方向へ向かうのか、地域の実態に視点を据えた地域研究手法に依拠した、拓殖大学の東南アジア研究者7名による共同研究書。

吉野文雄編

拓殖大学研究叢書38

## 東南アジアと中国・華僑

A5判上製182頁／3000円

[9227-7・12]

東南アジアと中国の政治経済関係と東南アジアにおける華僑・華人の位置に関する論文を収めた。ASEAN中国FTA、マレーシアにおける新村、東南アジアにおける孔子学院の展開など、日本からはアプローチが難しいテーマに意欲的に取り組んだ。拓殖大学の東南アジア研究者6名による共同研究書。